

○ 株式会社蔵王高原牧場は、散布作業の効率化を図るため従来の牛ふん堆肥のペレット化設備を導入。ペレット化により広域流通を図り、商社等の販売網を通じて供給量の拡大を図る。

■国内資源の種類

■肥料の種類・肥料名称

■取組の経緯・内容・成果（見込み）

- ・牛ふん（100%）
- ・ペレット堆肥
・蔵王高原牧場牛ふん堆肥
・蔵王ファーム牛ふん堆肥

取組の経緯

- ・株式会社蔵王牧場では発生する堆肥は近隣の耕種農家を中心に供給。しかし、堆肥の運搬に時間と費用を要すること、堆肥専用の散布機が必要なこと等により、その利用が伸び悩んでおり、ペレット化することにより、広域流通・利用拡大を図る。

■作物

・野菜等

■主成分の含有量（%）・特徴等

N	P	K
2.9	4.9	2.7

・水分含量 48.1%
・炭素窒素比 11.9 ※2017年3月値

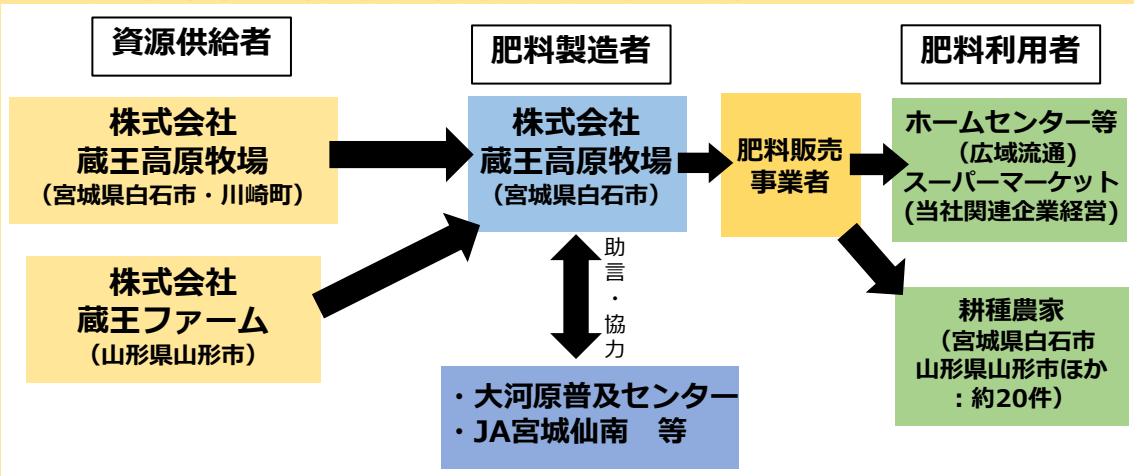
取組の内容

- ・ペレット化に当たっては、粒度が細かく、安定して水分含量が低い牛ふん堆肥のみを選定して利用。
- ・ペレット袋に商品名を付すなど付加価値を付けて販売する方針。
- ・今後、大河原普及センターの協力のもと、施肥マニュアルの作成・普及に努める。

成果（見込み）

- ・牛ふん堆肥のペレット化により、全国のホームセンター等に商社等の販売網を通じて供給可能となり、加えて当社関連企業が経営するスーパーマーケットでの販売が可能となる。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- ・需要期に合わせた安定した供給体制の確立
- ・広域流通による供給量の一層の拡大

堆肥（バラ）

ペレット化堆肥（試作）

ペレット堆肥
パッケージ（案）